

入場
無料

※医療介護従事者の方は
有料となります。
医療従事者限定のプログラムも
ご用意しております。

第29回日本在宅ホスピス協会全国大会in北九州

住み慣れた場所で最期まで

—在宅緩和ケアと透析の新たな選択—

日時

2026年

10.31 土

8:50~16:10(8:15開場)

会場

ウェルとばた

TEL:093-871-7200

JR戸畑駅より徒歩1分

お申し込みは
こちらから→



市民公開講座 9:15 ~ 11:40

大ホール



座長
武田 俊彦 先生
(元)厚生労働省医政局長
日本在宅ホスピス協会 顧問

● 基調講演

「在宅医療の未来を創る—国の制度改革と地域の実践」

伊原 和人 氏 (厚生労働事務次官)



● 特別講演

「このままで大丈夫?!ほんとにひとりでお家で死ねるんですか?」

上野 千鶴子 先生 (社会学者・東京大学名誉教授)



● 会長講演

「なんとめでたいご臨終」

小笠原 文雄 先生 (日本在宅ホスピス協会会長)



● 鼎談 「ひとりでも、ひとりにしない最期

—家で生ききるための新しい支え方」

「自分らしく、最期まで家で過ごしたい」 そう思ったことはありませんか?

国の制度改革の最前線、社会学者の鋭い問い、そして在宅ホスピスの現場で積み重ねられてきた実践。

「ひとりでも、ひとりにしない」 その答えを、医療者も、患者も、家族も、地域も、一緒に考える一日です。

あなたの「これから」を考えるために、ぜひ来てください。

アカペラライブ

13:20 ~ 13:40

大ホール

産業医科大学コーラス部 “メデュトピアコール” によるアカペラライブ

メッセージ

13:45 ~ 13:55

大ホール

秋野 公造 先生 (参議院議員・福岡県選出) 「透析患者の共同意思決定の推進に向けて」

市民公開シンポジウム

14:00 ~ 16:10

大ホール

共に考える 腎不全と透析のこれから ～地域で支える新しいケアのかたち～

座長



宮崎 正信 先生

(楠本内科医院
在宅支援部PD推進センター長)



櫻田 勉 先生

(聖マリアンナ医科大学
腎臓・高血圧内科教授)

スペシャルゲスト



たむら ようこ 先生

(株式会社ベイビープラネット
代表取締役社長 放送作家)

「患者だから伝えられること
— 経験から紡ぐ言葉」

講演者



大会長講演

楠本 拓生 先生
(楠本内科医院 院長)



副大会長講演

片岡 今日子 先生
(在宅看護センターひまわり 代表)



シンポジスト①

金井 英俊 先生
(門司掖済会病院 院長)



シンポジスト②

雁瀬 美佐 先生
(NPO法人腎臓サポート協会 理事長)

腎臓の病気は、突然やってきます。

「透析になったら、どんな生活になるのだろう」

— そんな不安を抱えたまま、大切な決断を迫られる方が、今もたくさんいます。

でも、選択肢は一つではありません。自宅で、地域で、自分らしく透析を続ける方法があります。

治療の選び方について、正直に話せる場があります。

患者さん、ご家族、地域に暮らすすべての方へ。知ることが、自分を守る力になります。

透析を経験した患者さんの言葉、専門医の本音、在宅ケアの現場から—
それぞれの立場が一堂に会し、「これからのケアのかたち」を一緒に考えます。

入場無料 どなたでもご参加いただけます。

主催：日本在宅ホスピス協会  詳しくはHPをチェック✓



お問い合わせ

日本在宅ホスピス協会 全国大会
事務局：(医)楠本内科医院内
TEL：093-863-1211

助成：公益社団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
後援：北九州市、中間市、水巻町、遠賀町、芦屋町、岡垣町
北九州市医師会、遠賀中間医師会、遠賀中間歯科医師会、遠賀中間薬剤師会
公益社団法人 福岡県看護協会、日本腎不全看護学会、NPO法人腎臓サポート協会